

# ふれあい

大代地区コミュニティ推進協議会

事務局：大代地区公民館 ☎ 364-8442

## 消防団からのお知らせ

第六分団長 櫻田 栄松

これからは、日増しに空気が乾燥し風が強くなり、火災の発生しやすい季節がやってまいります。

今年も全国春の火災予防運動が、三月一日（火）から三月七日（月）までの一週間実施されます。

昨年、市内では十七件の火災が発生しました。その主な原因は、タバコの不始末、天ぷら鍋の放置及び子供の火遊びなどとなっております。

大代地区内では、去る一月二十六日の早朝に、大型トラック二台が全焼するという火災が発生しました。運動期間中には広報活動を実施しますので、地区内の皆様には、火の取り扱いに十分注意していただきますようお願いいたします。消防団第六分団では、今年も地域から災害のない明るく住みよい街づくりのため、団員一同努めてまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



火の用心

## アフリカ大陸一のキリンマンジャロを制す(下)

大代東 三浦 徳男

いよいよアフリカ大陸一のキリンマンジャロを制する日がやってきた。登山口（一、八〇〇メートル）で登

あいさつは心のふれあい

出会った人と

あいさつしましょう

山手続きをして、ガイド五人、キッチン（料理を作る人）三人、ポーター十人の計二十四人とともに歩き出した。登山道はよく整備され歩きやすかった。途中の山小屋に二泊し、最後の山小屋となる四、七〇三メートルの山小屋に着くまでに二日間雪に降られ、景色も一変し寒さも厳しくなってきた。

十一日目の九月二十一日午前零時、ガイド五人とヘッドランプを頼りに歩き始めたが、砂れきと急斜面、それに空気が薄く苦しい。一歩で二十センチも進めば良いほうだ。休み休み、尾根に登りついていった時は頭はモーローと

していた。これから頂上まで二時間かけて更に登り、七時十五分無事全員で頂上に（五、八九五メートル）立ったのだ。「ヤッター！」感激のあまり自然と涙が出た。みんなで肩を抱き合っ

て大きく喜び合い、苦勞を忘れた数十分だった。天気は最高で、風もなく太陽が強くまぶしいくらいだ。三百六十度の大展望。雲海と氷河の大きさにただただ驚くばかり、凄いの一言である。寒さは氷点下十五度前後だろうか。ガイドが持参した酸素は使わなかった。

下らなければならぬ。さすがの山のベテランの人達も、疲れのため無口となり黙々と歩くだけだった。小屋での食事も喉を通らず、寝袋に入ることだけであった。全員で登ることができたのは、ベテランのリーダーと名ガイドに恵まれたことと想っている。十二日目の九月二十二日の午後二時、無事登山口に到着した時は、万歳してビールで乾杯し、ガイドから一人一人に登頂証明書を貰った。お世話になったお礼に、みんなでおプレゼントをする。私は寝袋とポット、折りたたみカサに二十ドルをお礼し、別れを惜しみながら送ってもらった。

今回の旅行は苦勞ばかりではなかった。ケニアとタンザニアの国立公園内のサファリで、野生動物のゾウやトラなどを間近で見てカメラで撮ることができたし、マサイ族の村を訪問（一人二十ドルを支払う）して、マサイ族の文化に触れることもできた。また、帰りにはオランダのアムステルダム市内を見学し、水車と水の古いレンガ造りの街を歩くこともでき、これからも忘れることのない思い出となるだろう。

今は一緒に苦勞して登った人達とメールを交換し合い、今年は東北の山を案内する約束をしている。



## 大代地区公民館まつり

期間／三月十二日（土）から 十三日（日）まで

会場／大代地区公民館

### ◆ 作品展示

日時／十二日（土）午後一時～五時  
十三日（日）午前九時～二時半

内容／手芸・華道・書道・演芸・はがき絵など

### ◆ チャリティーダンスパーティー

日時／十二日（土）午後六時半～八時半まで



### ◆ 舞台発表

日時／十三日（日）午前十時～午後一時まで

内容／大正琴・カラオケ・少年剣道 太極拳・舞踊など

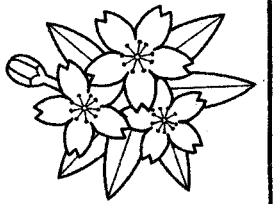
### ◆ 出店

日時／十三日（日）午前十時～

内容／焼きそば・玉こんに・とん汁 (完売しだい終了)

問／大代地区公民館  
電話三六四一八四四二

ご祝儀 お見舞いは 三千元を限度にし お返し物はしなないようにお互い気を配りましょう



## 弥生の大代

大代南 渡邊 巖

♪さくら、さくら、弥生の空は…  
と歌つても、時には貞山堀に薄氷が張つたりして…でも『光の春』は着実に近づいています。

### 節 供 (節句)



三日。この日が近づくと、まだ風の冷たい野辺に出て、やっと萌えたばかりのモチグサを摘むのですが、草餅が掲げるだけ集めるのに二日も三日もかかりました。三月節供に草餅を食うとお灸を据えたのと同じだと云われ、この家でもヨモギの入った草餅を作りました。

しかし、当時は未だ殆どの家に雛人形などは無い時代で雛飾りの風習もなく、大人達は草餅を食べて仕事を休みました。節供に働こうものなら『節供働きの道楽者』と軽蔑されました。

### 社 日

彼岸の中日に最も近い戊戌(つちのえ・いぬ)の日です。

社日の「社」示偏に土の字を書いて『土の神』を表し、春と秋にあります。春の社日には土の神を祀って五穀の生育を祈るのです。

ところで、当市には薪を伐り出せる山が乏しく、昔は正月六日の若木迎え以後、水田作業までの間の春仕事として利府町方面の山へ『山伐り』と称して燃料の薪の伐り出しに出掛けていましたが、『社日ピッコ』と云って怪我するので社日には山には入らず、小豆飯を供えて休日になりました。春仕事最後の丁度良い骨休みだったのでしよう。

### 彼 岸

大代では昔から春の彼岸に村共同で川土堤に供養棚を設け、年忌の当たっている家では塔婆を立て、僧侶を招いて法要を営んでいました。窮民救済の為に法事供養を合同で施行したもののようです。

その後、戦前、戦中、戦後の社会事情の変化で墓地も供養棚の場所も変わりましたがこの風習はご存じの様に『施餓鬼』と呼ばれて今に至っています。

### シベリヤからの帰路 (No. 三)

大代南 後藤 清一

民主連盟の若者達と入れ替わる、レニン帽の一寸小柄な気取った奴等と。どうも怪しい姿態だ。矢張り女だ。しかも日本人だ。何が始まるんだ。彼女等の腕には正しく思想調査の腕章がはめられている。「気をつけ。休め。」彼女は軽く微笑む。僕等もこれでいくらか気が楽になった。これより査問にかかる。所属収容所と姓名、年令など調べられ、また、これまでの在ソ間にお

ける労働によつて、思想改造が進んでいるかどうかを記入する。それに収容所においての教育に対して、各人の学習態度も書きこむ。「落第点だと当然船に乗れないぞ。」船という言葉を聞くと途端に、俺達は無力になった。特に旧兵料と階級をしつこく聞いてきた。後でウソがばれたら。と思うと…。

さらに「極東のシベリヤに送るぞ。」と大きな黒い瞳で睨まれドキッとす。彼等はそれをロシア語で記入していく。奴等は労働の代わりに特別な教育を受けているのだ。合格した者はこれが乗船名簿になると念をおされる。その時丘の方から船の汽笛が聞こえた。女達は手の腕時計を、欲しがるように見るが、これで調査が終わる。

目標は、第一収容所入り口出発。続けて赤旗の歌、彼女に続いて一節ずつ唄へ。綺麗な声で唄い出す。「民衆の旗赤旗は…」全員ためらわず唄い出す。彼女はその唄を聞いて驚き、これだけ歌えれば黙って合格だ。その時、前方から興奮した声が響いた。「海が見えるぞそれに船もだ。海があればこの大陸はこの辺で終わりだ。この先は日本だ。」ついに辿り着いたのだ。

皆の顔は異状な程、紅潮し騒然となる。「静まれ早合点すんな。あれは先着で待機者の船だ!」順番を待てと怒鳴る。「君達は、これから少なくとも二十日位壊れた橋・道路などの補修作業がある。同時に民主運動に全霊で取り

組んで貰う。」この様な同胞の手による運動で痛めつけられ、帰国を目前にして死んでいった人達も少なくない。

こんな無念の死に追いこまれた友。白樺の根本に埋められ「白樺の肥」といわれた。反動者はその「肥やし」になれとのスローガンであった。貨車につめこまれ、此処に降ろされたのは十月も終わろうとする頃であった。砂浜続きの丘から急斜面のスロープには、一面コスモスが咲き、海からの潮風と光りを受け色々な花が揺れている。「この海の先が祖国日本に続くのだ。俺達は本当に生きて親達が待つ家に帰れるんだ。この思いは間もなく果たせるんだ…。」

## 文芸短評

大代西 藤田遊子

君がため春の野にいでて若菜つむ  
わが衣手に雪はふりつつ

光孝天皇



雪の降る野に出て若菜を摘んでやり、素敵な女性の心をゲットしようとする仁明天皇の第三皇子の歌。後の第五十八代天皇。若菜の七種粥を食べると災いと万病が除かれるといわれる。春の七種は次のとおり。なすな、すずな、ほとけのぎ、はこべ、ごぎょう、せり、すずしろ。

『七種は電話一本で取り寄せり』遊子